

子ども樹木博士の認定活動を実施

指導普及課では、子ども達が樹木とふれあいながら、森林や自然環境について学び、自然を大切にすることを目的として、毎年2回子ども樹木博士の認定活動を実施しています。

安中市立九十九小学校

9月27日(月)安中市松井田町にある小根山森林公園で、安中市立九十九小学校3年生11名・4年生10名を対象に子ども樹木博士を実施しました。

秋の訪れを感じさせる冷たい雨の降る中、園内にある樹木の由来や特徴についてパネルを使って学んだほか、森林の保水能力を実験する「簡易ライシメーター」では、裸地や草地に比べ、森林がたくさんの水を吸い込み、地下水となって流れ出す様子を実際に実験してみました。

子ども達は「へー・知らなかった」など歓声をあげながら熱心に聞き入り、積極的に学校にある植物との違いなど質問を繰り返していました。

学習後、全員が認定試験を受け、見事に子ども樹木博士に認定されました。



前橋市立岩神小学校

11月5日(金)関東森林管理局構内において、岩神小学校3年生66名を対象に子ども樹木博士を実施しました。

局敷地内の樹木の特徴などを説明していると、しだいに自分で由来を考える子どもが増え、「キンモクセイって木星みたいにキレイだから名前がついたんでしょう」など、大人では思いつかないような素敵な由来を思いつく子が続出しました。



また、地元の小学生だけに「なんで営林局から森林管理局に名前をかえたの?」「営林局の方がカッコいいし、わか

りやすかった」など平成生まれとは思えない質問も多く寄せられ、こちらがたじたじとなる場面もありました。

元気な子ども達でしたが、認定試験になると一転して真剣な顔になり、見事に全員が子ども樹木博士に認定されました。